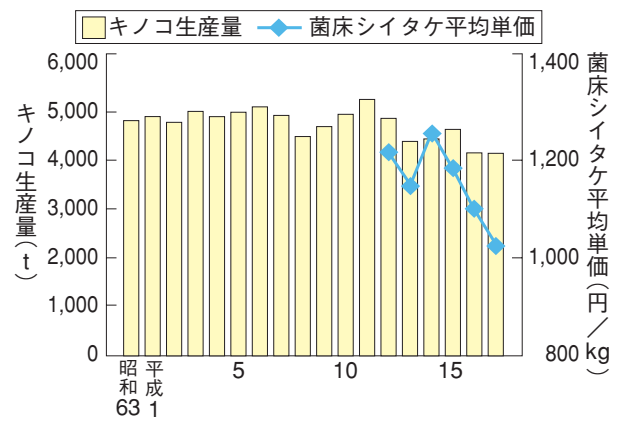




## ■ 岐阜県のキノコ産業はきびしい状況にあります

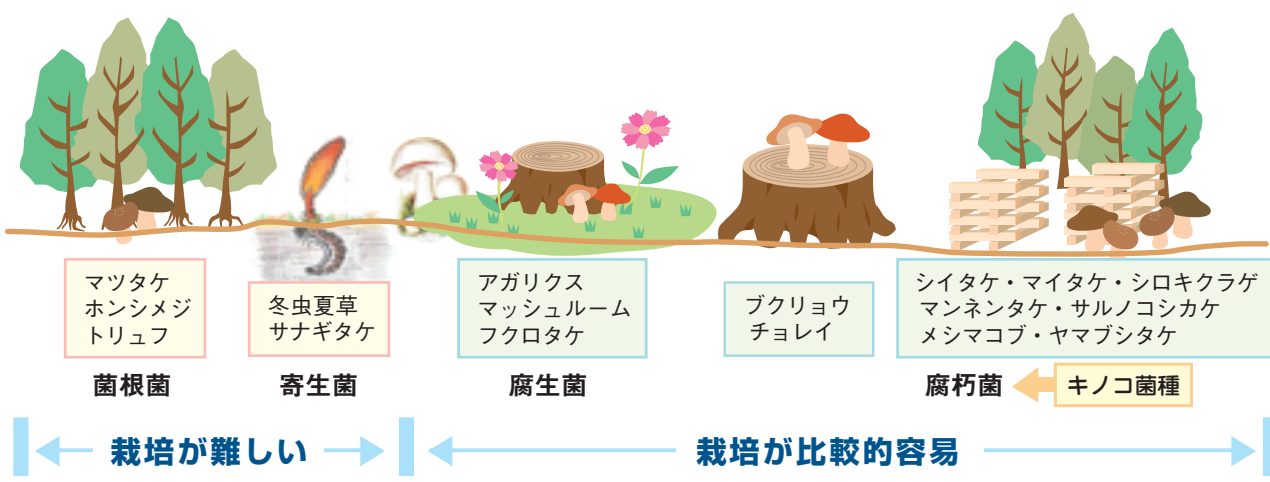


岐阜県のキノコ生産量と菌床シイタケ平均単価

### ここがポイントのキノコ栽培！

1. 残留農薬ポジティブリスト制度の施行で、中国産シイタケの輸入量が減少しています。
2. 農薬を使わない、安全で安心できるキノコ栽培技術の開発が必要です。
3. 味・食感の良い新しい岐阜ブランドキノコを発掘し、商品化が求められています。
4. アガリクスに代わる健康キノコの栽培技術の開発と普及が望まれています。
5. ホンシメジ、マツタケなど菌根性キノコを、里山で自然栽培できる技術が望まれています。

## ■ キノコの特性により、栽培しやすい腐朽性・腐生性キノコと、栽培が難しい菌根性・寄生性キノコがあります



## ■ 新鮮で美味しい地元発祥の岐阜ブランドキノコを紹介します

岐阜県産クリタケの人工栽培

野生のウスヒラタケを培養瓶で栽培すると、発生するキノコ(子実体)の形状は様々でした。

次ページで詳しく紹介します。

クリタケは、岐阜県内で採取した野生株(39株)の中から、収量、味、形などに優れた株を選抜し、施設栽培に成功しました。シイタケ栽培と同じように栽培できるのが特徴です。ウスヒラタケは、野生株を試験栽培しているところです。様々な形、色、大きさのものが発生し、栽培普及品種となる親菌種を選抜しています。

## ■ 高付加価値キノコの活用に向け、アガリクス茸に代わる健康キノコを紹介します

薬用・健康キノコ食薬区分<sup>1)</sup>

食薬区分	基本キノコ名(日本語)	利用部位(栽培)	栽培法・樹種・種菌・利用等の特徴 <sup>4)</sup>
専ら医薬品用 <sup>2)</sup> (5品目)	カワラタケ抽出物	菌糸体(可)	タンク培養(クレスチン)、クワガタの産卵材
	スエヒロタケ抽出物	菌糸体(可)	タンク培養(シゾフィラン)、肺真菌症の原因菌
	シイタケ抽出物	菌糸体(可)	タンク培養(レンチナン)
	チョレイ(猪苓)	菌核(未)	人工栽培は研究段階、第15改正日本薬局方に収載
	ブクリョウ(茯苓)	菌核(可)	アカマツ原木(土中全埋設)、第15改正日本薬局方に収載
健康食料 <sup>3)</sup> (14品目)	アガリクス	子実体(可)	腐生菌、H18年2月発ガンプロモーターの新聞発表で価格が下落した。
	アギタケ(阿魏茸)	子実体(可)	中国での栽培が盛んになっている。
	カバノアナタケ(榎孔茸)	菌核	ソルジェニツインの「癌病棟」に、「癌を予防し自然治癒する」と記述。
	カワラタケ(瓦茸)	子実体	白色腐朽菌
	コフキサロノコシカケ	菌核 菌糸体(可)	白色腐朽菌
	シロキクラゲ(白木茸)	子実体(可)	
	タモギタケ(たも木茸)	子実体(可)	黄色の子実体の特徴
	ツガサルノコシカケ(榎猿腰掛け)	子実体	白色腐朽菌、古くから抗ガンキノコとして利用
	ツリガネタケ(釣り鐘茸)	子実体	白色腐朽菌
	ハナサナギタケ(花蝸茸)	子実体(可)	セミなどの幼虫に寄生(寄生菌)、古くから民間薬として利用、トウチュウカソウ(冬虫夏草)の仲間
	ハナヒラタケ	子実体(可)	原木・菌床栽培、アカマツ・カラ松林に発生
	メシマコブ(女島瘤)	菌糸体(可) 子実体(可)	クワやその他広葉樹の原木栽培
	ヤマブシタケ(山伏茸)	子実体(可)	広葉樹の原木・菌床栽培
	レイシ(靈芝)	子実体(可)	広葉樹原木(土中半埋設)、古くから民間薬として利用
主に食料 <sup>3)</sup> (10品目)	エノキタケ(榎茸)	子実体(可)	
	オオヒラタケ(大平茸)	子実体(可)	原木・菌床栽培、オオクワガタの飼育材
	キクラゲ(木茸)	子実体(可)	ケヤキやその他広葉樹の原木・菌床栽培
	キノガサタケ(衣笠茸)	子実体(可)	孟宗竹林に発生、人工栽培は研究段階
	コガネキクラゲ(黄金木茸)	子実体	
	シイタケ(椎茸)	菌糸体(可) 子実体(可)	シイ、クスギ等広葉樹の原木・菌床栽培
	セイヨウマツタケ(西洋松茸)	子実体(可)	腐生菌、発酵させた人工堆肥で栽培
	マイタケ(舞茸)	子実体(可)	原木・菌床栽培
	マツタケ(松茸)	子実体(未)	菌根菌、アカマツ根と共生、人工栽培は研究段階
	ムラサキシメジ(紫シメジ)	子実体(可)	

1) 厚生労働省医薬局長通知(平成14年11月15日医薬品の範囲に関する基準の一部改正)を一部改変して作成  
 参照法規: 薬事法、無承認無許可医薬品の指導取締りについて、医薬品の範囲に関する基準の改正について  
 2) 専ら医薬品用: 専ら医薬品として使用される成分本質(原材料)リスト  
 3) 健康食料と主に食料: 医薬品の効能効果を標ぼうしない限り食品と認められる成分本質(原材料)リスト  
 4) 効能効果: 多くは、β-グルカンの免疫賦活化に依る抗ガン活性などが挙げられている



ブクリョウ、マンネンタケは漢方薬に、ヤマブシタケは、認知症改善に使われています。メシマコブは、飛騨で採取し栽培しました。栽培に3年も掛かるものもあり、栽培期間短縮の研究を行っています。

## ■ 里山の自然を生かした菌根性キノコの新しい栽培技術を研究しています

マツタケ発生地直下の土壌断面(シロ形成)

ホンシメジ発生(2001. 秋)

寒天培地上のマツタケ菌糸(左)と発芽胞子(右)(2007.1)

マツタケシロについては、岐阜県森林研究所ホームページで詳しく紹介しています。

ホンシメジやマツタケは、自然環境と調和して発生する菌根性キノコです。菌糸増殖法や胞子発芽条件の確立が研究の重要なポイントになっています。人工栽培の難しいキノコですが、ホンシメジ菌床を里山に埋設したところ、子実体(キノコ)が発生しました。また、アカマツ林を整備したあとに、人工増殖したマツタケ菌糸を散布し、里山でのマツタケ増産の研究も進めています。里山林を整備して菌根性キノコ菌糸と宿主樹木との共生環境を整えることにより、自然を生かしたキノコ栽培に取り組んでいきます。